

肺がん手術後に NP 療法（ビノレルビン+シスプラチン）を施行された方へ

1. 研究の対象

2019 年 3 月 1 日～ 2019 年 12 月 31 日に NP 療法が施行された患者

2. 研究目的・方法

プラチナ系抗がん剤の中でもシスプラチンは腎毒性の頻度が高いことが知られており、腎機能障害を回避する目的でシスプラチン使用時は投与前から大量輸液を行うことが推奨されている。近年、従来の量輸液より少量かつ短時間の補液法の忍容性が確認されており、点滴時間の短縮化が図られ通院治療も可能となった。利便性が高い一方、シスプラチンによる腎機能障害は自覚症状が乏しく、自身での発見が難しい。入院では尿量測定によりモニタリングしているが、外来患者では困難であり、尿量変化以外に効果的な指標は重要である。観察すべき項目として、尿量、尿量測定が困難な場合は尿回数や体重測定などの方法が推奨されている。しかし、体重変化や尿量、飲水量についての報告は少なく目安となる体重変化量も不明である。そこで、モニタリング指標として実際の体重変化や尿量、飲水量の変化の調査を行う。

研究期間：許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、血液検査値、病歴、処方歴、抗がん剤治療の治療歴、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

新潟県立がんセンター新潟病院 （ 薬剤部 ）

当院研究責任者：（氏名 大平 直樹 ）

連絡先：新潟市中央区川岸町 2 丁目 15 番地 3

TEL：025-266-5111（代表）